

平成19年度 第4回理事会

日 時 平成19年7月20日（金）15：00～

場 所 特別会議室

議 題

- 1 第29回独立行政法人評価委員会林野分科会について
- 2 女性研究者支援モデル育成事業について
- 3 その他

資 料

- 1－1 資料一覧
- 2－1 計画構想・概要
- 3－1 主要行事（6月29日～7月19日）

平成19年度科学技術振興調整費
女性研究者支援モデル育成事業

計画構想・概要

- 提案課題名 「 応援します！家族責任を持つ女性研究者 」
○総括責任者名 「 理事長 鈴木 和夫 」
○提案機関名 「 (独) 森林総合研究所 」

達成目標（ミッションステートメント）

(独) 森林総合研究所は、養育・扶養・介護等の家族責任を有する研究者が、研究を断念したり、停滞・後退させることなく、研究活動においてその能力を十分に発揮できるようにするため、家族責任を有する女性研究者を応援するエンカレッジモデルを構築する。

本モデルにおいて裁量労働制の採用を実現するとともに、育児・介護等の家族責任を持つ研究者の出張・転勤、病気などの緊急時へのサポート対応100%の実現を目指す。また、本所一支所、研究所—自宅間での研究情報の共有化を100%実現させる。また、本モデルを広く広報することにより、森林総研における今後の女性研究者の応募・採用比率を、大学および大学院の森林関連学部的女性比率と同等の約3割とすることを目指すとともに、家族責任が原因となる中途退職者ゼロを目指す。

計画構想

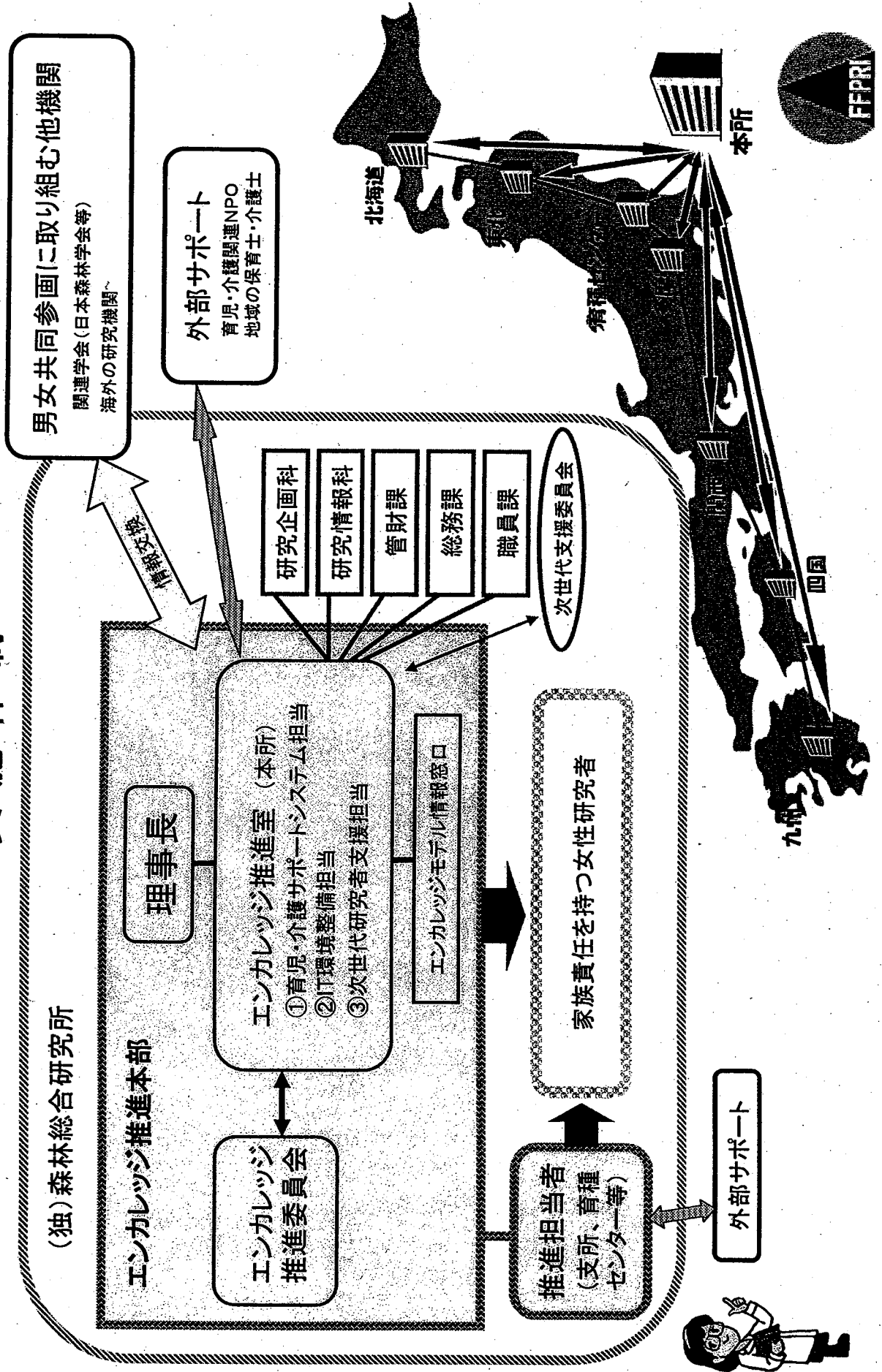
女性研究者を応援（エンカレッジ）し、研究と家族責任を両立させる研究環境・職場環境の整備・普及に努める。このため、

- (1) 本所に育児・介護支援に対応する専門部署「エンカレッジ推進本部」を設置し、
 - 1) 家族責任を持つ研究者のエンカレッジ推進の拠点とする。
 - 2) 出張・転勤・単身赴任等に対応する各種規程・制度等の検討・改善を図る。
- (2) 出張および病気等、公的機関での対応が不可能な扶養家族に対する一時保育・介護支援として、
 - 1) 裁量労働制の採用など、勤務時間および休暇制度のフレキシビリティを高める。
 - 2) 職場内一時的保育室の設置と育児・介護サポート者の緊急対応システムを構築する。
- (3) IT環境の整備と情報提供により
 - 1) 本支所間および研究所-自宅間の研究情報の共有化を進める。
 - 2) 転勤・出張時に対応可能な育児・介護サポート情報を整備し、提供する。
- (4) 次世代研究者支援として、
 - 1) 採用時の業績審査には、出産・育児履歴によるハンディを考慮する。
 - 2) エンカレッジモデルを積極的に広報し、女性研究者の応募・採用の促進を図る。

応援します！家族責任を持つ女性研究者

(独) 森林総合研究所

実施体制



区分

エンカレッジ推進委員会

エンカレッジ推進室

組織及び
担当業務等

エンカレッジ推進室の活動を支援

参画理事:亀井理事（企画・総務担当）
委員長：中島 COD（人材育成担当）
委員：10 数名を想定。

- ・大河内研究企画科長
- ・土肥総務課長
- ・宮田育種部長
- ・その他、委員を適宜追加

事務局（各実行課題の責任者）

総括：金指
エ（推進体制整備）：中田
サ（サポート整備）：金指
IT（IT 環境整備）：田村
次（次世代育成支援）：塔村

室長	総括	エ	サ	IT	次
金指地域林業室長	◎		◎		○
大河内研究企画科長		◎			
中田総務課補佐		○			
森戸安全衛生専門職		○			
愚田関西支所グループ長			○		○
太田本所主任研究員			○		○
岡村総務課補佐			○		
藤田東北支所長			○		○
田村研究情報室長				◎	
佐々木企画係長				○	
塔村企画室長					◎
瀬井本所主任研究員					○
林多摩主任研究員					○
渡辺育セン研究員					○

注 1. エ：エンカレッジ推進体制整備
サ：出張・転勤、緊急時の育児・介護のサポートシステム整備
IT：IT 環境整備
次：次世代研究者育成支援

注 2. ◎は責任者、○は担当

注 3. ◎◎は女性（14 名中 7 名）

独立行政法人森林総合研究所エンカレッジ推進本部設置要領

19森林総研第529号

平成19年7月12日

(目的)

第1 この要領は、独立行政法人森林総合研究所（以下「研究所」という。）が、女性研究者を応援（エンカレッジ）するため、研究と家族責任を両立させる研究環境・職場環境の整備・普及を図るエンカレッジ推進本部の設置について定める。

(実施体制)

第2 エンカレッジ推進本部長（以下「本部長」という。）は、理事長とする。

2 エンカレッジ推進本部にエンカレッジ推進室（以下「推進室」という。）及びエンカレッジ推進委員会（以下「委員会」という。）を設ける。

(推進室)

第3 推進室は、エンカレッジ推進体制の整備、サポートシステムの整備、IT環境の整備及び次世代研究者育成支援に向けた活動を行う。

2 推進室には室長及び室員を置き、室長及び室員は本部長が指名する。

(委員会)

第4 委員会は、目的達成のため推進室の活動を支援する。

2 委員長は、本部長が指名する。

3 委員長は、必要に応じて委員を指名するものとする。

(その他)

第5 この要領に定めるもののほか、推進本部に関し必要な事項は、本部長が定める。

附則（平成19年7月12日付け19森林総研第529号）

この要領は、平成19年7月12日から適用する。

主要行事(2007年6月29日～7月19日)

月 日	行 事 内 容	出 席 者
6月29日(金)	第3回理事会	理事長、各理事、監事
7月2日(月)	庁議	理事長
4日(月)	森林セラピー基地「全国ネットワーク会議」総会	理事長
6日(金)	(独)産業技術総合研究所 吉川弘之理事長 講演会	理事長、各理事、監事
7日(土)	森林木材環境アカデミー主催 2007年度シンポジウム	理事長、企画・総務担当理事
9日(月)	千葉県知事勉強会	理事長
9日(月) ～11日(水)	九州地区育種協議会及び九州育種場、九州支所出張	育種事業・森林バイオ担当理事
10日(火) ～11日(水)	会計検査院による会計実地検査	理事長、企画・総務担当理事、 研究担当理事
17日(火) ～18日(水)	九州支所、九州育種場ほか出張	理事長